

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

長崎県長崎県病院企業団 上五島病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	ド透未訓	救 臨 感へ災
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	13,954	-	第1種該当	10：1

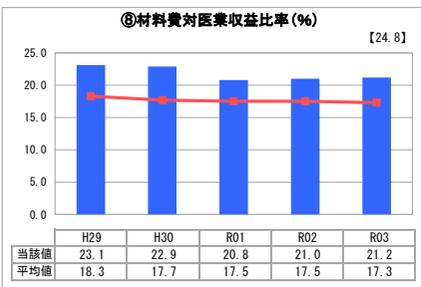
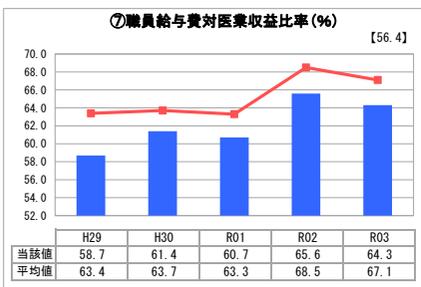
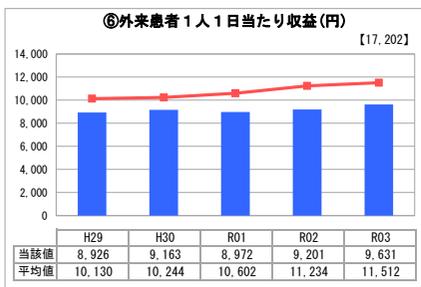
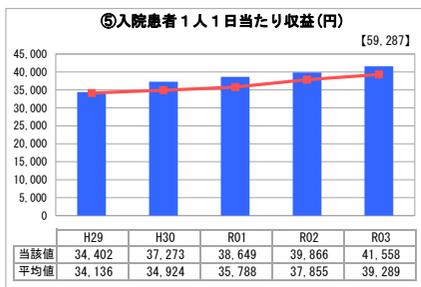
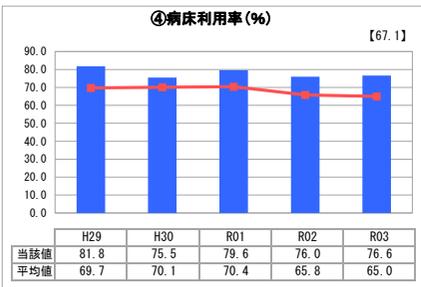
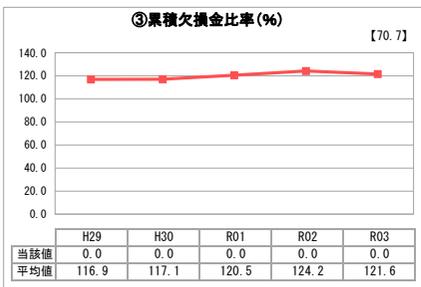
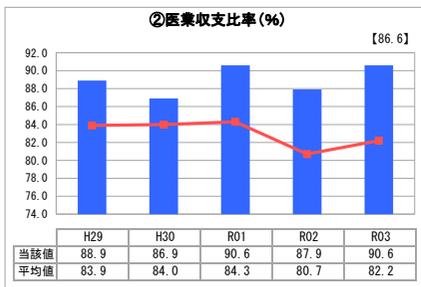
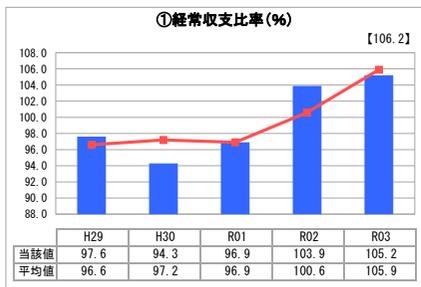
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

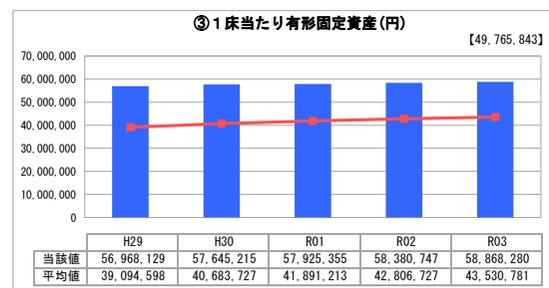
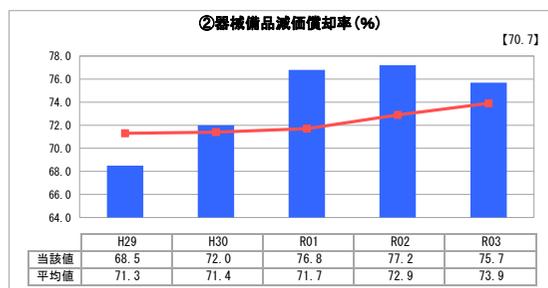
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
132	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	186
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
112	48	160

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成24年度	-	-
年度	-	-
年度	-	-

## I 地域において担っている役割

上五島医療圏で唯一の入院機能を有する中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療を提供し、第二種感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ体制を確保している。  
地域のニーズに合った病床機能への転換を行うとともに、基幹病院と附属診療所のそれぞれの医療機能の特徴を活かし、地域に信頼される安定的でより良い医療を目指している。  
また、行政、他医療機関、介護施設等との連携を密に地域医療・包括ケアの充実に努めている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は昨年に続き100%超を達成した。②医業収支比率は入院・外来ともに1人1日当たり収益が増加したことにより医業収益が改善され、前年度を上回った。④病室利用率はコロナ病床を確保しているにもかかわらず、前年度より改善し全国平均を上回った。⑦職員給与費対医業収益比率は医業収益の増加により前年度より改善したが、医師数の増加により令和元年度以前よりも高い水準となっている。⑧材料費対医業収益比率は新型コロナウイルス感染症の検査試薬や手術件数増による材料費の増加で前年度よりも悪化した。

### 2. 老朽化の状況について

当院は昭和61年に建築されており、施設全体の老朽化が進んでいるため①有形固定資産減価償却率は増加傾向である。②器械備品減価償却率、③1床当たり有形固定資産については平均値よりも高水準にあり、令和3年度はMR I装置や経年劣化が著しい器械の更新を行なったが、耐用年数を過ぎた器械が多く残っている。  
今後も過大投資とならないよう、経営状況を考慮しながら計画的に設備投資を行っていく。また、新病院建設に向けて病院機能・規模等の方向性を十分に検討していく必要がある。

## 全体総括

令和3年度は経常収支が黒字となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により今後も厳しい経営状況が予想される。人口減少・高齢化の影響もあり患者数は減少傾向にあるが、柔軟な受け入れによる新規患者の確保や手術件数の増加を目指し、医業収益の改善を図っていく。費用面では、施設の老朽化による修繕費増、設備投資による減価償却費増が危惧されるが、可能な限り材料費・経費の削減に努めていきたい。また、安定的な医療を提供できるよう、看護師を始め医療スタッフの確保に努めるとともに、効率的な病棟運営を検討していく必要がある。  
今後も地域住民の需要に応えながら、地域医療・ケアの充実に努めつつ、経営の健全化を目指していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。